

岩手県感染症週報

平成15年第49週（12月1日～12月7日）

岩手県結核 感染症情報センター

第49週の概要

1 類感染症

- ・患者発生の報告はありませんでした。

2 類感染症

- ・患者発生の報告はありませんでした。

3 類感染症

- ・患者発生の報告はありませんでした。

4 類感染症（全数把握対象疾患）

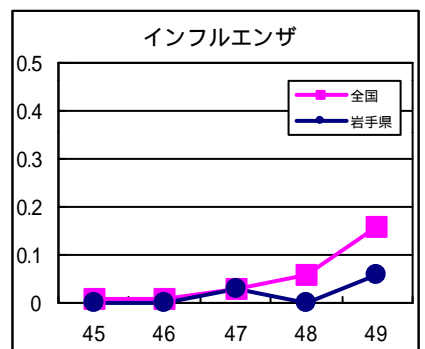
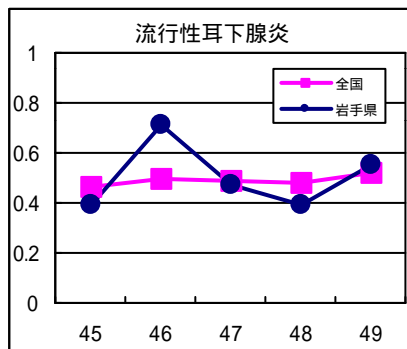
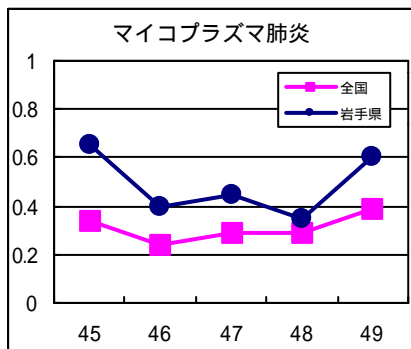
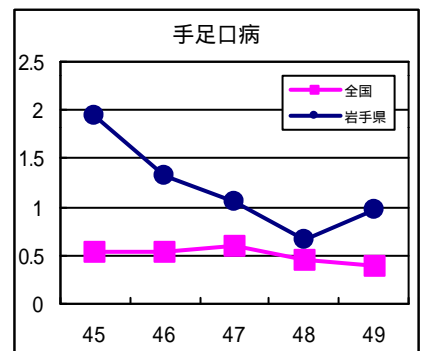
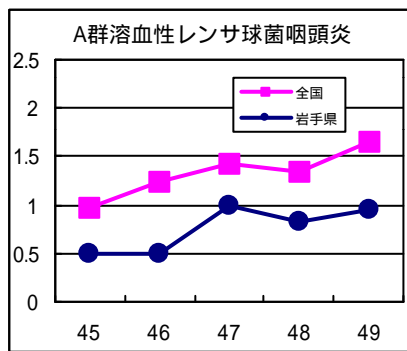
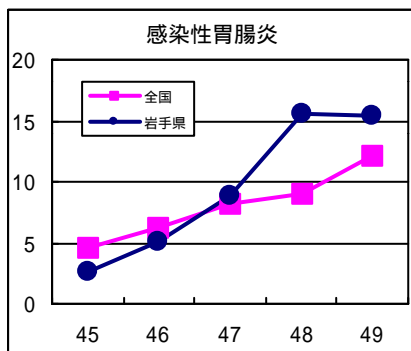
- ・盛岡地区から急性ウイルス性肝炎の報告が1例ありました。患者は30代の男性で、海外でのB型肝炎ウイルスの感染が疑われています。

4 類感染症（定点把握対象疾患）

- ・感染性胃腸炎は引き続き、各地で流行中です。前週に最も患者数の多かった北上地区では、この週にはやや減少したものの、定点あたり患者数が40.7と、依然として患者数が多い状態が続いています。盛岡地区では、調査を始めて以来、初めて警報値（定点あたり患者数20.0）を超えました。宮古、二戸地区は比較的患者数が少ないようですが、これから年末にかけて増加することが予想されますので注意が必要です。
- ・溶連菌感染症は、各地で少しずつ患者数が増加しています。
- ・手足口病は、本来シーズンオフであるこの時期に、水沢、一関地区で患者数が増加しています。
- ・インフルエンザは、盛岡地区から4名（20歳代と50歳代）の患者発生の報告がありました。本県はまだ、流行期には入っていないようですが、今後の動向に注意が必要です。
- ・盛岡地区では数周前から、流行性耳下腺炎の患者数がやや多い状態が続いています。

最近の注目疾患（定点あたり患者数の過去5週の動き）

（疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意）



定点把握対象疾患（過去5週の動き）

（定点あたり患者数）

疾病名	地域	週					流行傾向	
		45	46	47	48	49		
インフルエンザ	岩手県	0	0	0.03	0	0.06	→	
	全国	0.01	0.01	0.03	0.06	0.16		
咽頭結膜熱	岩手県	0	0	0.03	0.03	0.03	→	
	全国	0.15	0.18	0.25	0.24	0.3		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	0.5	0.5	1	0.82	0.95	↗	
	全国	0.98	1.25	1.42	1.34	1.66		
感染性胃腸炎	岩手県	2.61	5.13	8.89	15.63	15.37	→	
	全国	4.51	6.16	8.16	9.04	12.2		
水痘	岩手県	1.16	1.45	1.18	1.74	1.34	→	
	全国	1.64	1.76	2	2.31	2.45		
手足口病	岩手県	1.95	1.32	1.05	0.66	0.97	↗	
	全国	0.54	0.54	0.59	0.46	0.39		
伝染性紅斑	岩手県	0.13	0.26	0.08	0.05	0.16	→	
	全国	0.18	0.2	0.27	0.22	0.25		
突発性発疹	岩手県	0.29	0.47	0.63	0.61	0.5	→	
	全国	0.67	0.72	0.77	0.71	0.75		
百日咳	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01		
風疹	岩手県	0	0	0.03	0	0	→	
	全国	0	0.01	0.01	0.01	0.01		
ヘルパンギーナ	岩手県	0.18	0.03	0.21	0.16	0.03	↘	
	全国	0.11	0.11	0.1	0.09	0.1		
麻疹（成人麻疹を除く）	岩手県	0	0	0.03	0.03	0	→	
	全国	0.01	0	0.01	0.01	0.01		
流行性耳下腺炎	岩手県	0.39	0.71	0.47	0.39	0.55	→	
	全国	0.46	0.5	0.49	0.48	0.52		
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.03	0.02	0.02	0.03	0.03		
流行性角結膜炎	岩手県	1.58	1	0.17	1.25	0.67	→	
	全国	0.84	0.9	0.84	0.8	0.92		
急性脳炎（日本脳炎を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0	0	0	0		
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.02	0.01	0.01	0.03		
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.06	0.04	0.04	0.03	0.04		
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.65	0.4	0.45	0.35	0.6	→	
	全国	0.34	0.24	0.29	0.29	0.39		
クラミジア肺炎（オウム病を除く）	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.01	0.01	0	0.02		
成人麻疹	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0	0	0	0.01	0		

【流行傾向の見方】

- 無印 : ほとんど患者が発生していません
- : 患者が発生しています
- ↗ : 警報値を超えた地区が1～2地区あります
- ↘ : 多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患（過去5週の動き）									(患者発生数)	
分類	疾病名	岩手県					累計	全国		
		(週) 45	46	47	48	49		49	累計	
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0	
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
二類 感染症	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	23	
	細菌性赤痢	0	0	0	1	0	11	4	439	
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	1	59	
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	36	
	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0	
三類	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	0	1	0	50	35	2516	
四類 感染症	アメーバ赤痢	0	0	0	0	0	3	4	472	
	エキノкокクス症	0	0	0	0	0	0	0	17	
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	オウム病	0	0	0	0	0	1	0	41	
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	急性ウイルス性肝炎	0	0	0	0	1	13	1	616	
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	8	
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0	
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	8	
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	0	0	0	0	2	1	106	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	50	
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	2	0	3	9	873	
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	1	
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	1	97	
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	17	
	先天性風疹症候群	0	0	0	0	0	0	0	1	
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ツツガムシ病	0	0	0	0	0	6	30	261	
	デング熱	0	0	0	0	0	0	0	31	
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	1	50	
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	1	
	乳児ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	0	
	梅毒	0	0	0	0	0	4	5	442	
	破傷風	0	0	0	0	0	0	0	66	
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	1	59	
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	0	
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0	
マラリア	0	0	0	0	0	0	0	72		
ライム病	0	0	0	0	0	0	0	5		
レジオネラ症	0	0	0	0	0	0	4	136		
ウエストナイル熱	0	0	0	0	0	0	0	0		

本年11月5日に感染症法が改正されたことに伴い、調査対象疾患が一部改正されましたが、本週報では当面の間、改正前の分類による情報をお届けします。
できるだけ早い時期に、新しい分類による情報をお届けするよう準備していますので、ご了承ください。

今注目の感染症

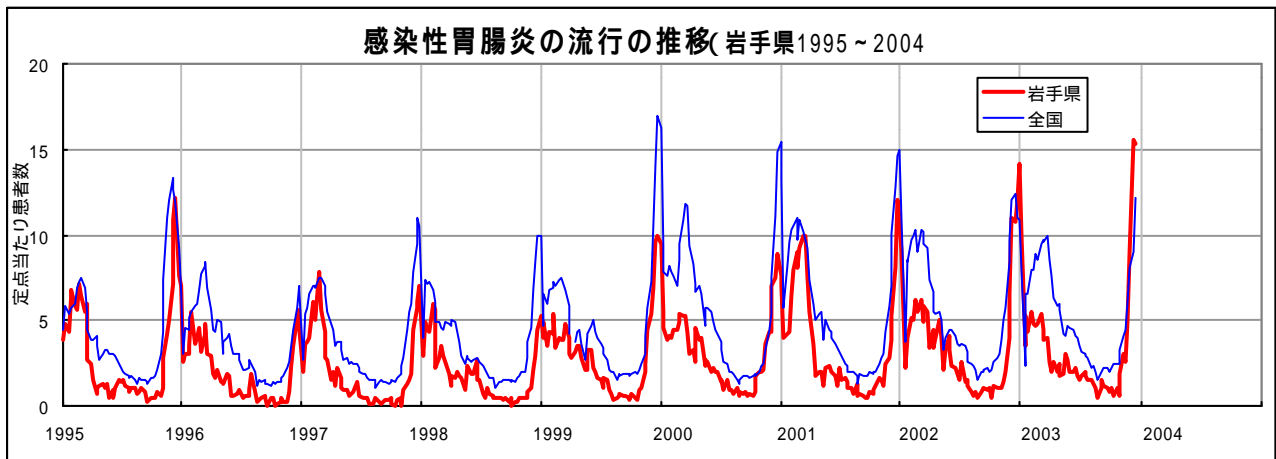
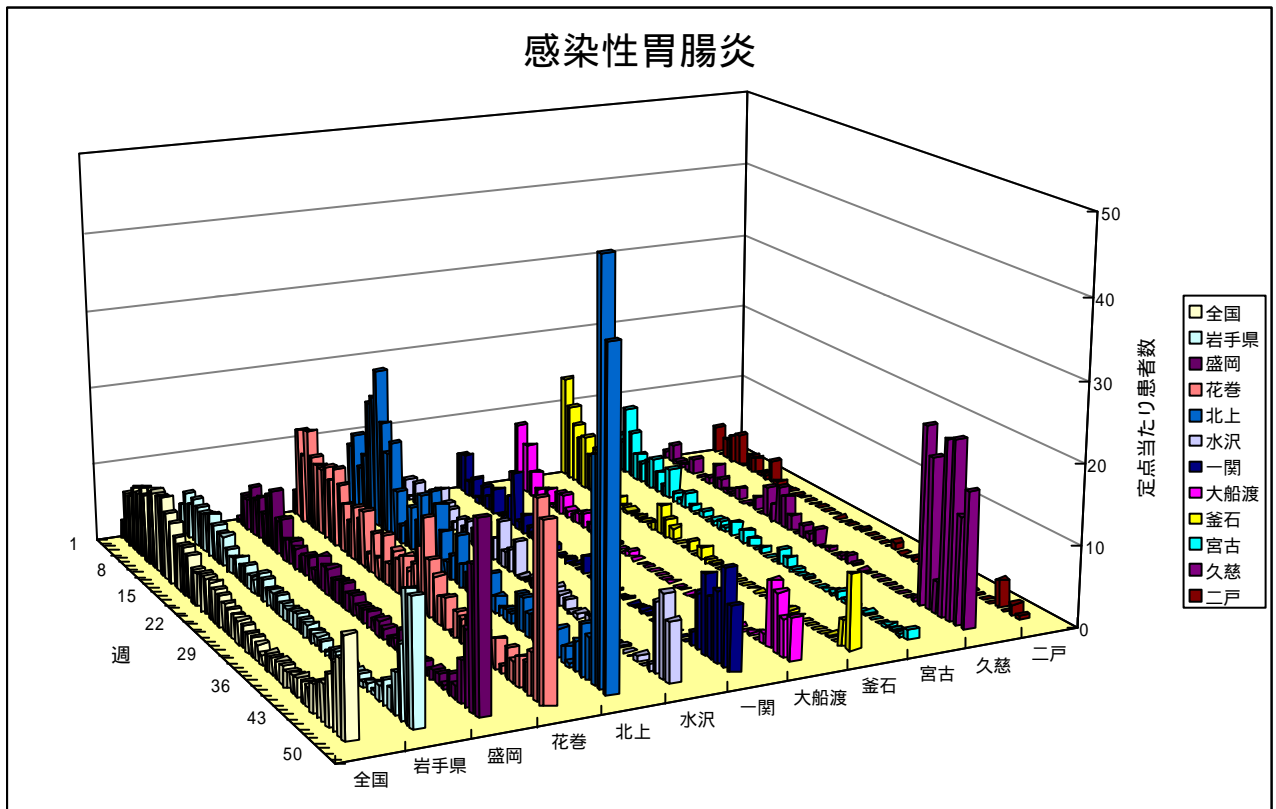
感染性胃腸炎

感染性胃腸炎は引き続き、各地で流行が続いています。

環境保健研究センターで行っている病原体検査では、11月初旬からこれまでに、多くの患者の便からノロウイルス（以前は、「小型球形ウイルス：SRSV」、「ノーウォーク様ウイルス」などと言っていました）を検出しています。

このウイルスは食中毒菌のように食品中などでは増えませんが、感染力が強く、院内、家庭内あるいは集団内での二次感染の防止対策が重要です。

また、この時期には、全国各地で修学旅行客の宿泊施設などで集団感染事例が頻発しており、多くの事例からノロウイルスが検出されています。



病原体検出情報

- ・感染性胃腸炎の患者の便からアデノウイルス31型を1例検出しました。
- ・感染性胃腸炎の患者の便からノロウイルス（遺伝子型II）を6例検出しました。
- ・無菌性髄膜炎の患者の便からエンテロウイルス71型を1例分離検出しました。

集団感染情報

この週には、集団感染情報はありません。

医療機関からの情報

盛岡地区の医療機関（小児科）から

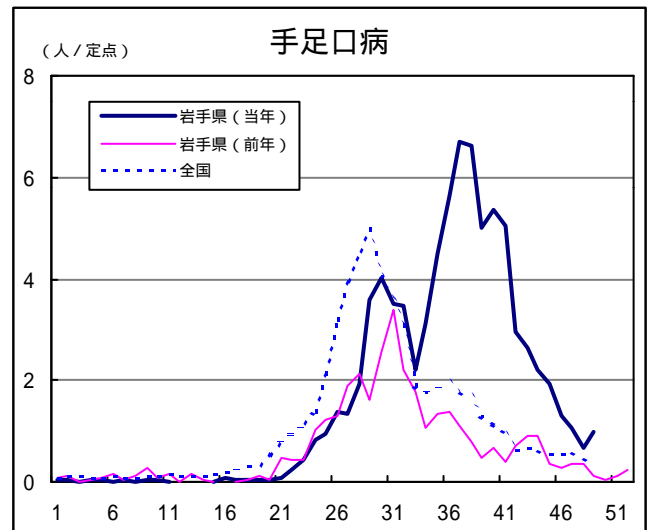
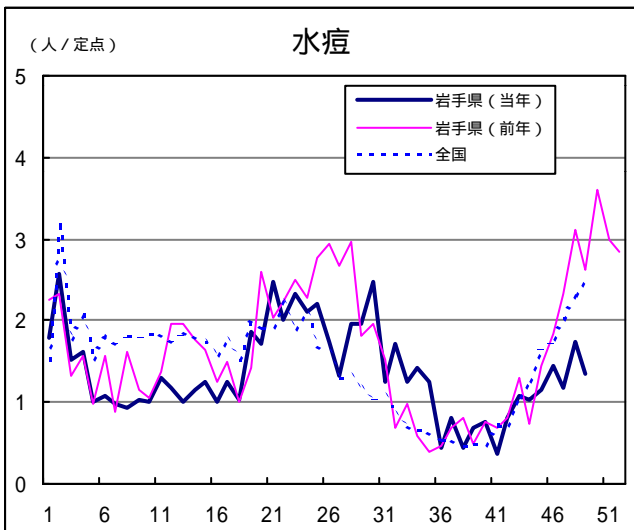
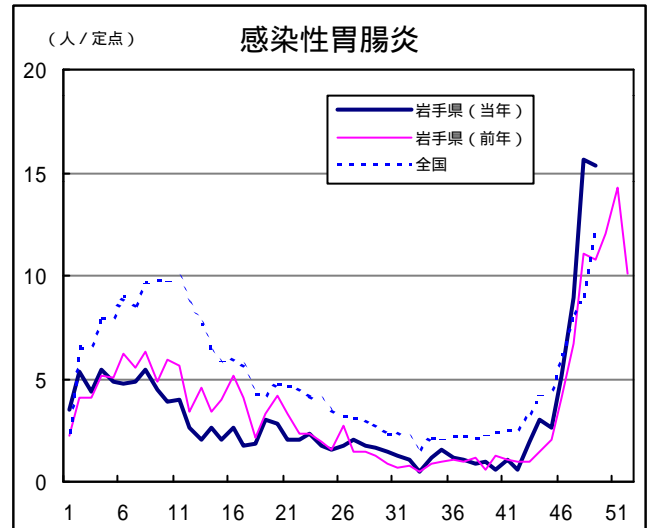
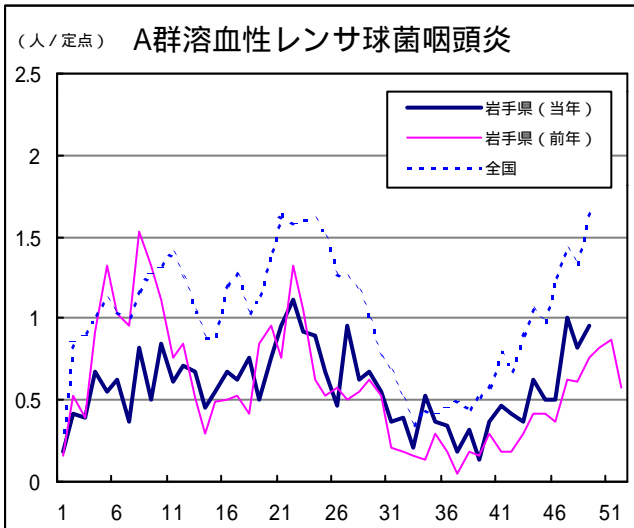
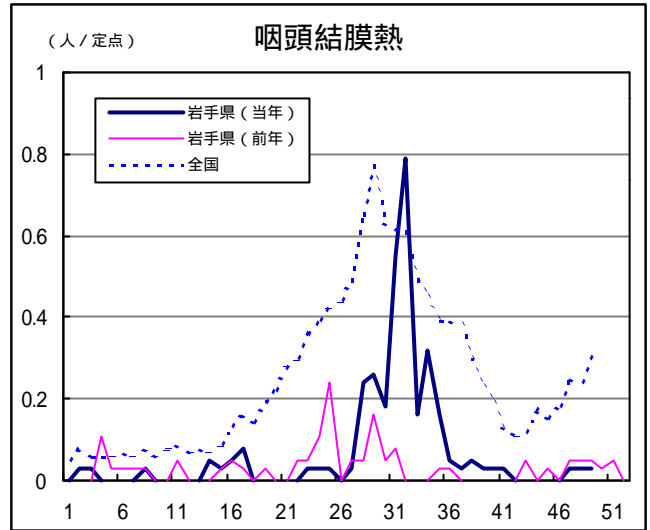
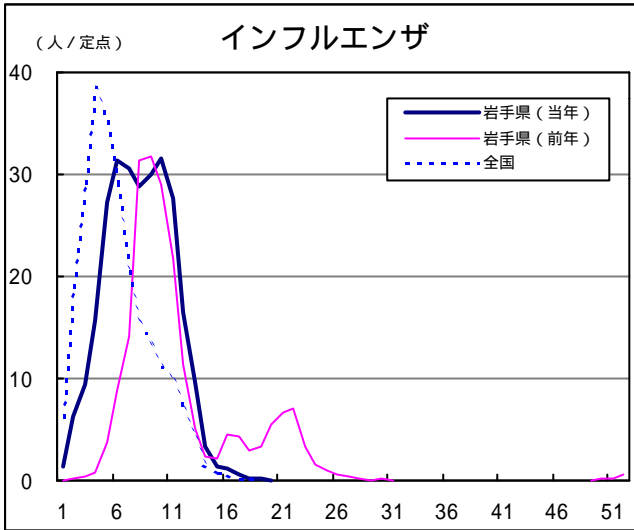
- ・盛岡地区北部の小学生の間で、頭痛、嘔吐を伴う風邪がはやっているようだ。

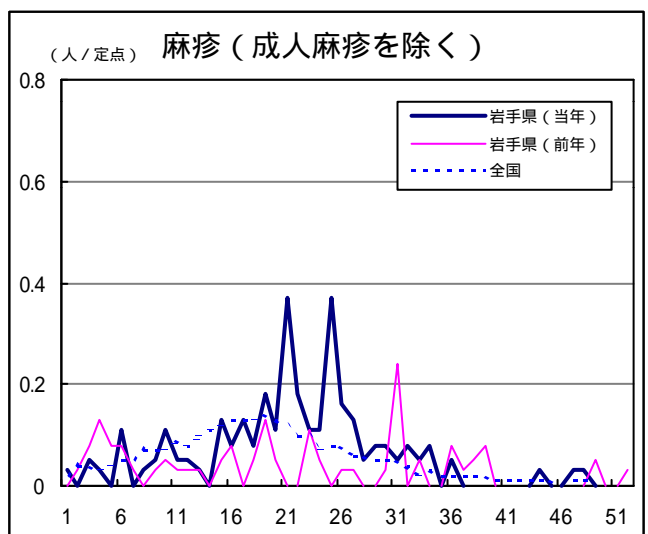
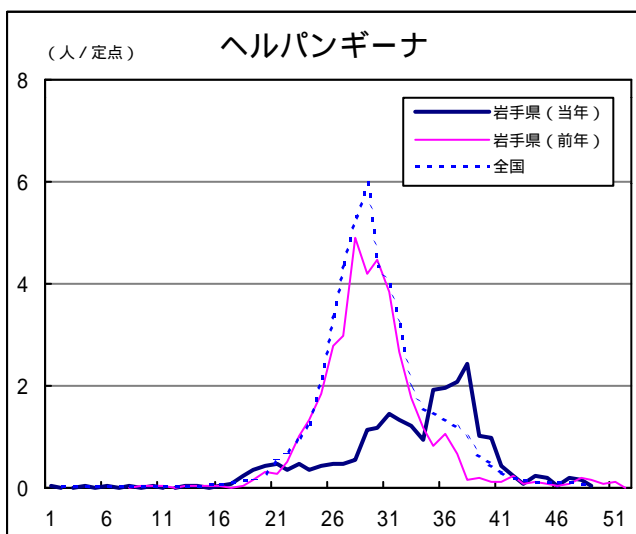
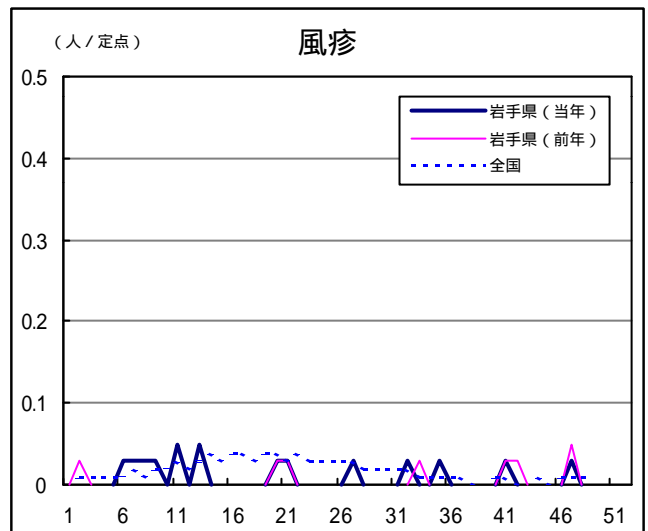
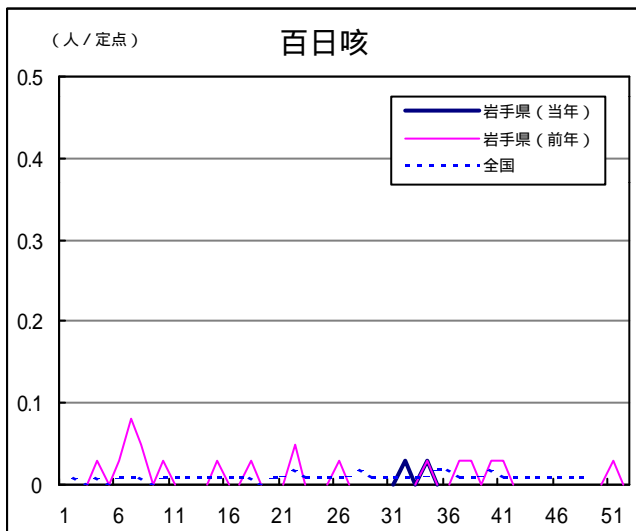
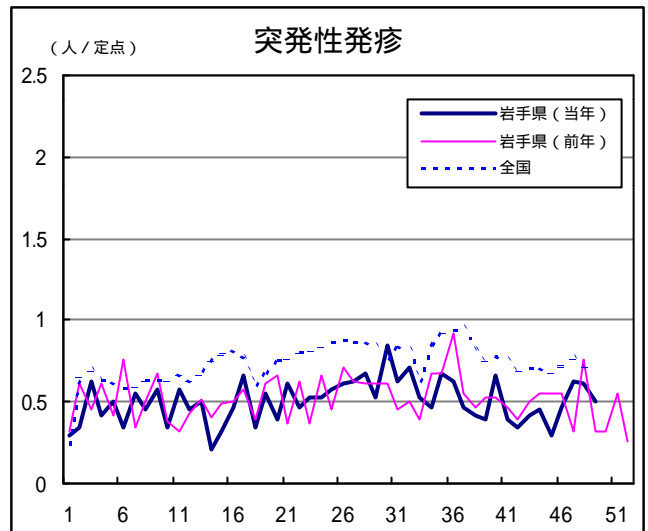
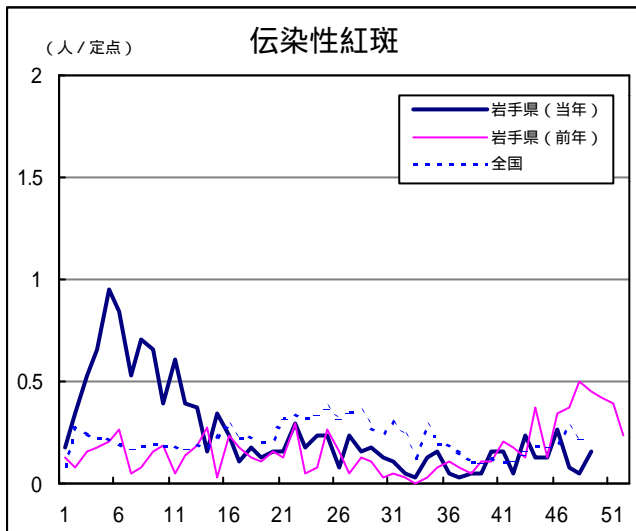
Q & A

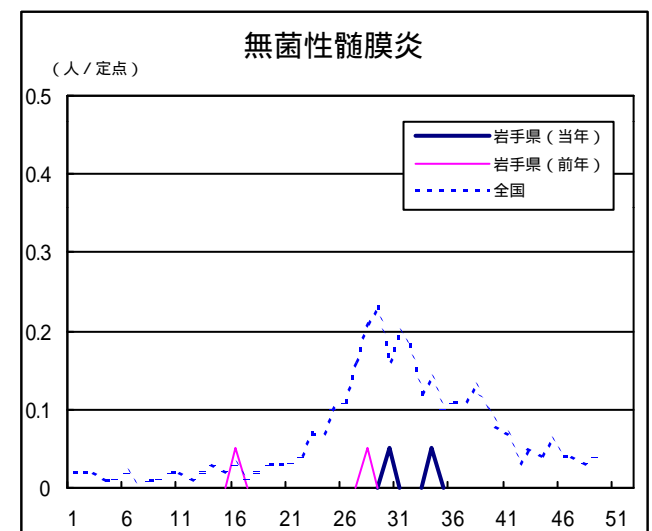
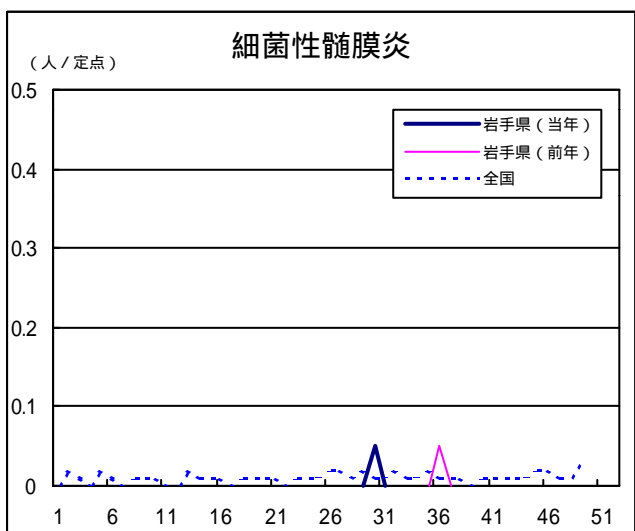
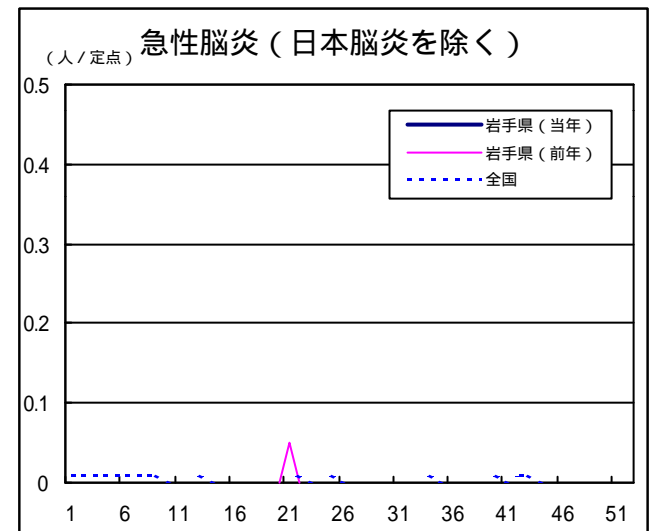
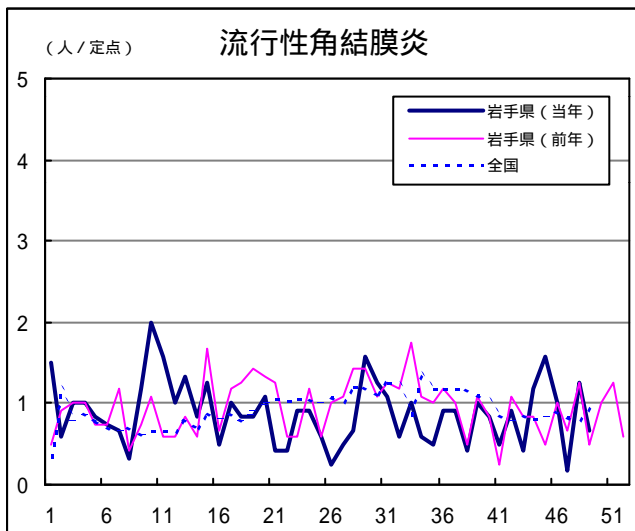
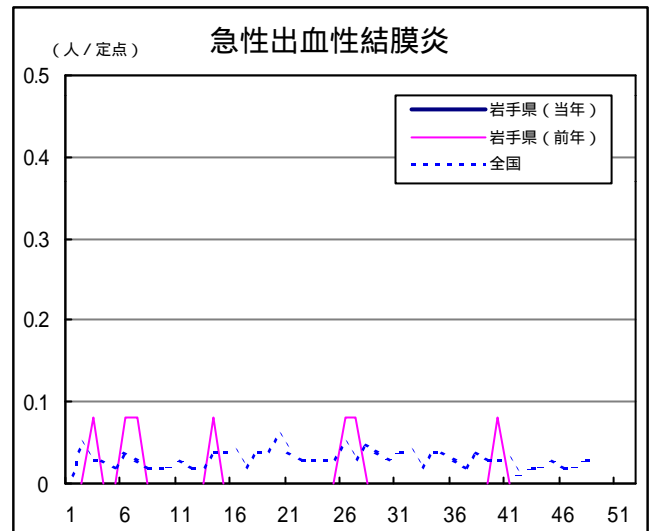
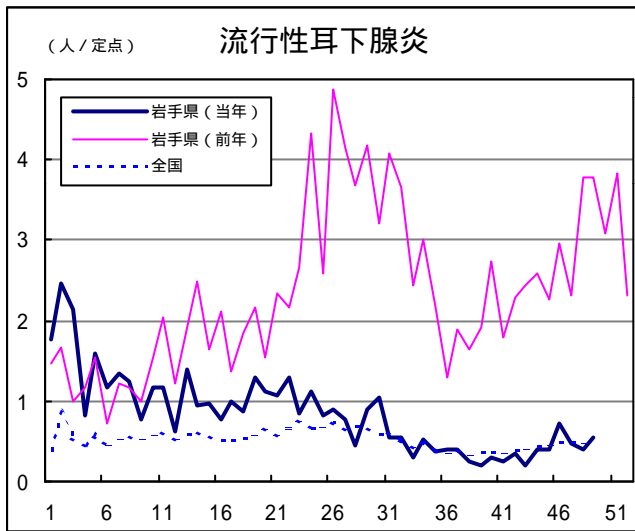
読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

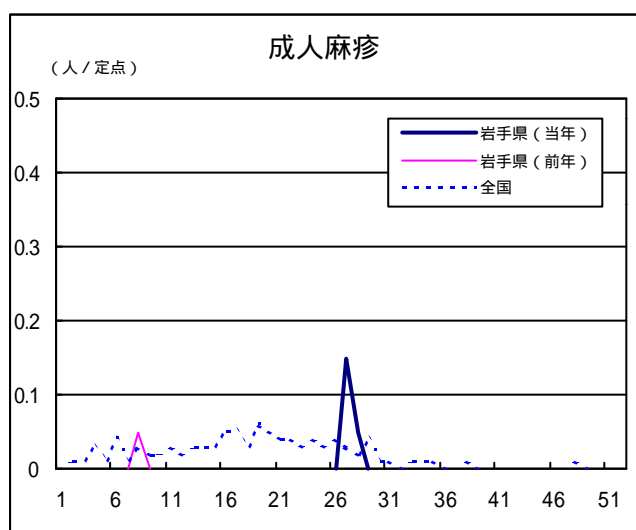
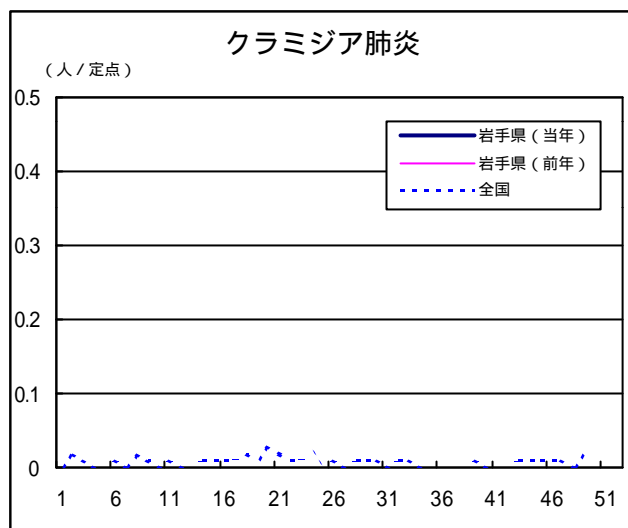
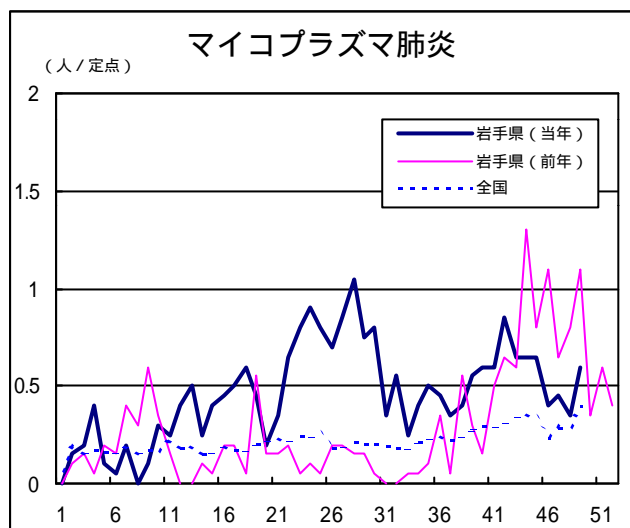
医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。
岩手県結核・感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667
E-mail : CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ（定点あたり患者数の推移）









定点医療機関の数

地区	インフルエンザ	小児科定点	眼科定点	基幹定点
岩手県	62	38	12	20
盛岡	17	11	3	5
花巻	5	3	1	2
北上	5	3	1	2
水沢	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	5	3	1	1
釜石	5	3	1	2
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする
「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。
 配信の登録は以下のURLからお願いします。
<http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成15年第49週 平成15年12月12日発行
 監修：岩手県結核・感染症発生動向調査委員会
 発行：岩手県環境保健研究センター
 岩手県保健福祉部保健衛生課
 事務局：岩手県結核・感染症情報センター
 (岩手県環境保健研究センター保健科学部内)
 〒020-0852 岩手県盛岡市飯岡新田1-36-1
 TEL:019-656-5669 (直通) FAX:019-656-5667
 E-mail: CC0019@pref.iwate.jp
 URL: <http://www.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>
 <岩手県結核・感染症情報センター>
<http://www.pref.iwate.jp/~hp0360/>
 <岩手県保健福祉部保健衛生課>